

科目名	基礎造形演習		Subject	Basic Modeling Practice	
サブタイトル	平面造形、立体造形、デザインに共通する美術全般の基礎技術の習得および作品制作				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術		社会実装
1 年	前期	必修			
授業形態	単位	時間			
演習	4 単位	60 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回		なし			
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.i.kurimoto@skycampus.jp	
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】				
実践的教育	×				
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。				

科目の概要								
表現力や造形力の土台となる基本的なデッサンをはじめ、平面造形、立体造形、デザインに共通する美術全般の基礎知識や基礎技術を学び作品を制作します。さまざまな素材や技法を用い、それらの特徴と加工方法の違いや関連性を知り、幅広い技術を習得します。また、物事を分析する事、発想することによりデザインワークを体験します。さらに制作した作品の批評会やプレゼンテーションを行うことにより、美術に対する意識を高めながら自己の作品を客観的に見る力を養います。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	美術作品の制作で使うさまざまな技法を用い、それらの特徴や関連性を知り作品表現することができる。また、制作した作品の批評会やプレゼンテーションを行うことにより、美術作品や芸術に対する意識を高め、目標をもって作品制作ができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	アトリエ美術技法百科（基礎デッサン）/美術出版社、アトリエ美術技法百科（基本デザイン）/美術出版社							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	10%	-	-	10%	80%	-	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
時間外学習としては予習復習に限らず、美術館での作品鑑賞およびテレビやネットでの美術作品閲覧の時間も含む。 また、学苑祭では作品展示を行い、自作を客観的に評価するとともに鑑賞者とコミュニケーションを取り作品制作につなげる。								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	基本的な造形作品の種類や技術について述べるができる。	画集やネットを見て造形作品の種類について調べる。	240 分
第 2 回	偶然性からの創作① 制作方法について	紙に絵の具や墨をにじませて自由に描くことができる。	画集やネットを見て偶然性による表現について調べる。	240 分
第 3 回	偶然性からの創作② 作品制作	絵の具や墨をにじませて描いたものを利用して作品制作することができる。	画集やネットを見て偶然性を応用した作品表現について調べる。	240 分
第 4 回	偶然性からの創作③ 作品完成	絵の具や墨をにじませて描いたものを利用して作品を完成させることができる。	前回の続き	240 分
第 5 回	基本形態デッサン① 基礎理論	立体物の構造や見え方を理解し描くことができる。	画集やネットを見て立体物の描画技法について調べる。	240 分
第 6 回	基本形態デッサン② 描画方法	立体物の構造や明暗、描画方法を理解し描くことができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	遠近法の作品表現① 基本理論	空間や立体物の遠近法を理解し、基本構造を描くことができる。	画集やネットを見て平面作品における遠近法の表現技法について調べる。	240 分
第 8 回	遠近法の作品表現② 理論と図法	空間や立体物の遠近感を捉え、作品を正確に描くことができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	遠近法の作品表現③ 明暗の表現	空間や立体物の構造や遠近感を捉え、明暗を表現することができる。	画集やネットを見て平面作品における遠近法の明暗表現について調べる。	240 分
第 10 回	遠近法の作品表現④ 作品完成	空間や立体物の構造や遠近感を捉え、作品を完成させることができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	基礎デッサン① 基礎理論	デッサンの基礎理論を理解し、形を正しく捉えることができる。	デッサンの基礎理論を踏まえて身近なものをデッサンする。	240 分
第 12 回	基礎デッサン② 基本構造と明暗	対象物を正しく捉え、基本構造や明暗を描くことができる。	デッサンの基本構造を意識して身近なものをデッサンする。	240 分
第 13 回	コラージュによるイメージ表現① コラージュの解説・表現テーマの選定	コラージュ表現や素材について理解し、説明することができる。	画集や雑誌を見てコラージュ表現につながる素材を調べ集める。	240 分
第 14 回	コラージュによるイメージ表現② 2つのテーマとイメージ	イメージとコラージュ作品をつなげることができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	コラージュによるイメージ表現③ 画面構成	コラージュにより画面構成を意識して作品を制作することができる。	画集やネットを見てコラージュによる実作品について調べ比較する。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 6 回	コラージュによるイメージ表現④ 作品完成	イメージと関連付けたコラージュにより作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 1 7 回	キュビズムのデッサン① 技法解説	画面を分解して再構成するキュビズムのデッサンの方法を知り説明することができる。	画集やネットを見てキュビズムの作品や作者について調べる。	240 分
第 1 8 回	キュビズムのデッサン② 画面分解	描写した画面を複数の線で分解することができる。	前回の続き	240 分
第 1 9 回	キュビズムのデッサン③ 分解と構成	描写した画面を複数の線で分解し、再構成することができる。	画集やネットを見てキュビズム作品の画面構成方法について調べる。	240 分
第 2 0 回	キュビズムのデッサン④ 画面構成とバランス	画面全体の構成やバランスを見ながら制作することができる。	前回の続き	240 分
第 2 1 回	キュビズムのデッサン⑤ 画面構成と明暗	画面のバランスや構成を意識して明暗を表現することができる。	画集やネットを見てキュビズム作品の画面構成における色彩や明暗を分析し研究する。	240 分
第 2 2 回	キュビズムのデッサン⑥ 作品完成	バランスや構成、明暗を見ながら再構成し、作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 3 回	平面構成から立体造形へ① 平面構成について	平面構成の考え方について理解し説明することができる。	画集やネットを見て平面構成の表現技法について調べる。	240 分
第 2 4 回	平面構成から立体造形へ② 平面構成と色彩表現	平面構成における色彩の効果を理解し彩色することができる。	前回の続き	240 分
第 2 5 回	平面構成から立体造形へ③ 平面と立体の関係	平面作品を意図的に分解して立体作品を制作することができる。	画集やネットを見て平面構成から立体作品を制作する表現技法について調べる。	240 分
第 2 6 回	平面構成から立体造形へ④ 立体作品完成	多方向からの見え方や色彩を意識して立体作品を表現することができる。	調べた作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 2 7 回	紙の立体① 基本構造	立体作品の基本構造を制作することができる。	画集やネットを見て紙の立体作品を制作する技法について調べる。	240 分
第 2 8 回	紙の立体② 組み合わせ	組み合わせを意識して立体作品を表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	紙の立体③ 作品完成	多方向からの見え方を意識して立体作品を表現することができる。	調べた作品と自分の作品を比較して、効果や表現方法について研究する。	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション	基礎造形演習で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し解説できる。	基礎造形演習で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分